

岩手県コース

城 由美子（1982・産社）

私は今回岩手県コースに参加させていただき、「生きることのエネルギーを持つ」ということを学びました。3年半前のあの日、テレビ画面に写る映像は、現実のものと思えず、本当に心が痛みました。その後の被災地からの情報は耳を疑うばかりの内容でした。ものツアーで、映像では感じることのできない温度、臭い、雰囲気、風、色、静けさ、太陽の光、音を体感しました。3年余の悲しさ、我慢、辛ぼう強さ、希望が私にも少し理解できたように思います。陸前高田を案内してくださったガイドさんが、「今年は、涙を流さずにガイドできます」とおっしゃったことに、「生きることのエネルギー」を感じました。「助かった者には助かった理由、生きる理由がある」とも聞きました。「生きることのエネルギー」のもとには「希望」ではないだろうか。バスの中から風景を見つめながらいろいろ考え、学んだ2日間でした。

東北地方は、私にとって初めての地でした。期待していたとおり、岩手の海産物はおいしく、米も野菜もとてもおいしかったです。この農産物を新鮮なまま地元三重で手に入れることは難しく、やはり現地に来て、現地で食すことが一番だと思いました。工芸品も私の趣味に通じるものがあり、もっとゆっくり手にとって見たかったというのが本音です。中尊寺は「行きたくて行きたくて」という場所だったので、わくわくして見学しました。必ず何度も訪れる場所になると思います。

岩手県校友会のみなさま、いろいろなお気づかいをありがとうございました。みなさまの一つ一つの言葉が心にしみいる時間でした。私は、この2日間で学んだことを、次世代に必ず伝えたいと思っています。次はゆっくりと東北を旅したいと思います。みなさん、現地でしか味わうことのできないものを体験しに、東北へでかけましょうよ。